

あさかわ

議会だより

No. 118

令和2年2月5日

福島県浅川町議会

高く飛べ！

— あさかわこども園のたこ揚げ —

災害復旧被災者支援を議決	2
中小企業の支援条例を制定	4
職員給与を改定	5
一般質問 10人が問う	6
追 跡 学校跡地・地元意見交換会	18
町民の声	20

被災者支援策を議決

12月議会定例会は、12月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。審議の結果、江田町長が提出した18議案を原案どおり可決し、議員発議1件を否決しました。

一般会計補正予算

台風19号関連で6億7千万円を計上

歳入歳出に7億2048万円を追加し、総額を4億9749万円とするもの。台風19号の災害により、被災住宅修繕、災害廃棄物処理、被災農業者支援等の補助金や農用地・土木施設の災害復旧費等の歳出総額は6億7712万円となりました。

【質疑】

問 被災住宅修繕料の内容は。

答 一般住宅の応急修繕料として、半壊の59万5千円が12戸、一部損壊の30万円が7戸、合計で924万円。また、みのわ団地に無償で入居してもらう5戸の退去時の修繕料として50万円が5戸分、250万円を計上した。

問 清掃費災害廃棄物処理委託料の3000万円の内訳は。

答 J T跡地の廃棄物と収集された稲わらの処分に2000万円、それから今後の家屋の解体による廃棄物処分料として1000万円をみている。

問 サポート補助金の対象戸数は。

答 上限30万円、4分の3補助で20戸分を計上している。

問 グラウンドの土の検査はしないのか。

答 堆積した土砂は全て撤去し、砂を入れてならして使えるようにしていく。

問 歳入にJR水郡線代替バス運行負担分として168万円があがっているが。

答 水害で水郡線が運転見合わせとなり、町は主に学生を対象に10月21日から10月31日まで代替バスを走らせた。初めにJRと話をした時は、JRは代替バスを出す予定はないということだったので、町独自に出した代替バスの費用168万円をJR水戸支社に請求したところ、全額いただくことができた。

問 流木が流れついでいる水田は、どういう発注をするのか。

答 補助の復旧事業で取り組めるところはそれで取り組み、ほかは町の単独事業で業者に処理を依頼する。

【採決】 全会一致で可決しました。

■災害関連の主要な歳出 (単位:万円、千円未満切り捨て)

項目	補正額
災害救助費 (被災住宅修繕料)	1174
清掃費 (災害廃棄物処理委託料等)	3100
農業振興費 (被災農業者支援交付金等)	7470
水田農業振興費 (水田流入土砂・稲わら除去補助金等)	2256
生活環境改善サポート事業補助金 (被災住宅修繕補助金)	600
農用地等災害復旧費 (工事請負費等)	1億9819
土木施設災害復旧費 (道路・河川工事請負費等)	2億8439
社会教育施設災害復旧費 (町民グラウンド工事請負費等)	4764

台風19号 災害復旧費

町民税・固定資産税・国保税
担税能力なくした被災者に減
免

台風19号により甚大な被害を受け、担税能力を喪失したと認められる人に、被害に応じて税の減免を行うとする条例の制定を、11月12日付で専決処分したので、その承認を求め
るもの。

【質 疑】

問 各税の見込まれる
件数と減免額はいくら
くらいになるのか。

答 件数は今月申請期
間を設けるので、どの
くらいになるかはまだ
わからない。ただ、罹
災証明書の半壊以上、
床上浸水ということで
出ている方が15件ほど
ある。その他、農地と
土地の被災については
まだ把握していないが、
何件かは出てくるかと
思う。減免額もまだわ
からない。

河川の決壊等による被災農地
の分担金を免除

台風19号による河川の決壊などに起因する
災害が未曾有の災害だったため、農用地の災
害復旧事業の受益者分担金を全額免除するも
の。

【質 疑】

問 「河川の決壊等」
というのは、農地の裏
山が崩れて土砂が流入
したようなものも含ま
れるのか。

答 「河川の決壊等」
の意味は、堤防の決壊
のほか、河川の氾濫に
より冠水した農地が入
る。今回の河川災害は
浅川町でも初めてのよ
うな災害で、規模も大
きかったので、今回限
り減免するということ
である。

問 減免の件数と総額
はどのくらいか。

答 農地の被災面積は
約97ヘクタールで、約
400筆。金額は概算
で、事業費1億円とし
て個人負担2%とする
と200万円ぐらいに
なるかと思う。

【採決】 全会一致で
可決しました。

【採決】 全会一致で
可決しました。



堤防が決壊して被災した小貫地内の水田

例定 条制

中小企業を支援する 条例を制定

中小企業・小規模
企業振興基本条例
中小企業・小規模
企業が本町において
果す役割の重要性に
鑑み、持続的発展を
図るための基本とな
る条例を定めるもの。

商工会、経営者協会と
協議していきたい。
事業所数は、293
事業所がある。

【質 疑】

問 制定に当たり、来
年度振興策として新た
な取り組みは。事業所
数は何社あるのか。

答 今後、関係機関、



ニュータウンの浄化槽管理 を町に移管

花火の里ニュータ
ウン汚水処理施設関
連条例4件制定
ニュータウン居住
者による管理組合が
管理していた浄化槽
を町の施設として受
け入れるための条例
を定めるもの。

問 定期的な情報交換
し、町としても積極的
に関与すべきではない
か。

答 意見要望を広く求
めて、後継者問題も含
めて取り組んでいく。

【採 決】

全会一致で可決しま
した。

【質 疑】

問 基金の額はいくら
になる見込か。使用料
は基金に入れるのか。

答 基金の額は、15
40万円、使用料は基
金でなく維持管理費に
充てる。

【採 決】

全会一致で可決しま
した。

嘱託・臨時職員を「会計年度 任用職員」に

地方公務員法の一
部を改正する法律の
施行に伴い、令和2
年4月1日より会計
年度任用職員制度が
導入されることから、
会計年度任用職員の
給与、報酬等につい
て必要な事項を定め
る条例。

【質 疑】

問 今回の条例の制定
は、地方自治体によっ
て、嘱託、臨時職員の
処遇がばらばらだとい
う状況に鑑みて、国が
一定の基準を定めて全
体の底上げを図ろうと
いうものと理解してよ
いか。改善されるのは
具体的にどういう部分
か。万が一にも後退す
るようなことはないか。

答 処遇改善だが、休
暇はほぼ職員と同様の
内容を現在想定してい
る。嘱託職員の期末手
当は2・9ヶ月支給し
ている。今度の統一基
準で職員と同様に2・
55ヶ月と手当分は減額
になるが、年収ベース
を基本に処遇改善を図
り、後退するようなこ
とのないよう定めたい。

【採 決】

全会一致で可決しま
した。

契約変更

消費税率改正により戸別受信機整備工事の契約変更

防災行政無線設備戸別受信機整備工事請負契約変更
契約期間中に消費税率の改正があり、契約全額を200万円増額し1億1000万円とするもの。

グからデジタルへ移行することに伴い庁舎内の操作盤工事などもあり契約変更となった。消費税率改正に伴う国のガイドラインに基づいて、今回契約変更する。

【質疑】

問 6月に契約しており9月中旬に工事が完了していれば、消費税の増税分を支払わなくてもよかったのではないか。

答 工期は6月から2月末までであり、アナロ

【採決】

全会一致で可決しました。

県人事委員会勧告に伴い職員給与等を改正

勧告に基づき主に若い職員の給与を最高2000円引き上げ、勤勉手当を年間0・05月引き上げるもの。

答 期末手当が減額になっているのは育児休業を取る職員がいたため。全体では、その分を除けば、今回の給与改定は増額になる。

【質疑】

問 期末手当総額は161万円減額になっているが。

採決 全会一致で可決しました。

議員議決

議会議員等の給与の特例に関する条例の一部改正

提出者 上野信直
角田 勝

民に甚大な被害が発生し、被災者の救済や復旧のためにも、特別職の報酬、給料を上げるべきではない。

【提案理由】

議員の報酬の5%を、町長、教育長は給料の10%カットを継続すべきである。台風19号による未曾有の豪雨で町

【討論】

反対討論 —
水野議員 どの町村

でも議員のなり手が少ない。そうした中、石川五町村でもそのような取組みを行っているところはないと思う。若い人の出やすい、待遇改善が必要。私は以上の点から反対する。

賛成討論 —

角田議員 70年、100年に一回の未曾有の災害であり、この災害の被害を考え、議員は自ら給料をカットしてそれに当てるべき。

【採決】

賛成2人、反対9人で否決しました。

12月定例会 採決一覧

全19議案中18議案は全会一致で可決しました

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案名	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田勝	水野秀一	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
議会議員等の給与の特例に関する条例の一部改正	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	否決(2：9)

10人の議員が質問

(通告順)

1 兼子長一議員

- (1) 台風19号の被害に伴う営農再開支援策について
- (2) 浅川町消防団員の装備品の充実及び報酬の見直しについて

2 岡部宗寿議員

- (1) 台風19号の件について
- (2) 滝輪、ニュータウンから里白石間の防犯灯の件について
- (3) 町長と町職員の旅行の件

3 須藤浩二議員

- (1) 町長の町政に対する考えを伺う
- (2) 吉田富三記念館の運営について

4 会田哲男議員

- (1) 県道勿来浅川線の中里屯所前交差点に信号機の設置を
- (2) あさかわこども園とあさかわ図書館前に横断歩道の設置を
- (3) 小学校・中学校のスクールバス実施について
- (4) 保育料のゼロ歳児からの無料化実施を

5 水野秀一議員

- (1) 今回の災害を教訓に災害に強い町づくりを
- (2) 中学生もバス通学にできないか
- (3) 浅川町功労者表彰に関する規則に長寿会役員も入れるべきでは

6 渡辺幸雄議員

- (1) 橋上沢を流れる川（水路）の改修工事を早急に実施すべき
- (2) あさかわこども園、保育部を隣接町村の子供が利用できないか

7 木田治喜議員

- (1) 浅川町地域防災計画について
- (2) 浅川小学校の安全について
- (3) 旧浅川座問題について

8 金成英起議員

- (1) 今後町の災害に対応する体制について
- (2) 一級町道染小貫線について

9 上野信直議員

- (1) ハザードマップに示された避難所及び町防災計画の見直しを
- (2) 大水害の被災者に大震災時にならって町独自の温かい支援を
- (3) 花火の里ニュータウンの分譲・活用に対する方針を伺う
- (4) 床暖房が壊れた地域福祉センターなど諸施設の修繕を計画的に
- (5) 特別養護老人ホームなど介護施設の充実を急ぐべき
- (6) 交通弱者対策として実施されるタクシー助成の内容は
- (7) 植木が伸びすぎて死角が多くなった勤労者体育館・テニスコート周辺の整備を

10 角田勝議員

- (1) 台風19号豪雨による被害対策と復旧の見直しについて
- (2) 今年度予定事業は台風被害対策によってこれ以上のとり止めや遅延はでないのか
- (3) 学校給食費の無料化を実施して父母負担の軽減をはかるべき
- (4) 町内などでの働く場の確保をはかること
- (5) 小学生、町全域通学バスを実施して子育て支援充実をはかるべき
- (6) 町長公約の実現と振興計画の町民体育館耐震工事実施について
- (7) 町道大明塚背戸谷地線、東大畑大名大塚地内の周辺道路の整備について

町政を問う

一般質問は12月6日に行われ、10の方が傍聴されました。通告した10人の議員の質問は左記のとおりです。

※一般質問とは
定例議会において、各議員が住民の代表として行政全般にわたり町当局の考えや疑問をたずねることです。また議員にとつて政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

営農再開に向けて町の追加支援を



兼子長一議員

農業用機械再取得に5%上乘せしたい

問 国は営農再開に向けての支援策として、水田に流入した稲わらの除去に1㎡当たり5千円、収穫済の玄米の浸水被害に10a当たり7万円、浸水した農業用機械の再取得に国・県併せて90%の補助をするとしているが、生産者にとっては不十分である。

浅川町として追加の支援策を講じるべき。

町長 このたびの台風19号により、被害に遭われました皆様は心よりお見舞いを申し上げます。国や県の制度を基本に取り組んでいく。農業用機械再取得補助は町として5%の上乗せをし、国・県と併せて95%の補助となる。



滝輪地内の水路復旧作業

消防団員に雨カッパ支給を

次年度予算で優先的に検討する

問 ①現在消防団員には雨カッパが支給されておらず、台風19号の警戒活動に濡れながらあたっていった。団員の健康管理の面からも、全団員に雨カッパを支給すべきである。

町長 ①次年度予算において優先して検討する。

②配備状況を再調査し、安全確保対策について善処する。

③報酬等、他町村の状況も踏まえ処遇改善は必要と認識している。様々な検討を図りたい。

②火災の消火活動中に着用する防火衣が各班に2着配備されているが、2着では不足であり、安全管理の面からも増やすべきである。

③団員は火災や自然災害から町民の生命、財産も守るため身を挺して出動する。しかし年間報酬は低いので、処遇改善を図るべき。

浅川町地域防災計画は活用できたのか

計画を基に 災害対策本部を立ち上げた



岡部宗寿議員

問 ①浅川町地域防災計画書があるが、今回活用できたのか伺う。
②セブンイレブン、リオンドール、ダイユーエイトが浸水し、買い物に困難になった人たちは何か対策を考えたか。
③堤防を遊歩道にして舗装をかけることだが、その前にやるべきことがあるのではないか。
④町消防団が出勤し自家用車が水没したが、町では何かしらの補助ができないのか。

町長 ①地域防災計画書を基に、災害対策本部を立ち上げ、応急対策を図り計画書を活用した。
②災害に伴う活動として、元氣あさかわ夢工房の移動販売車を活用するよう周知した。
③堤防のかさ上げは河川整備全体の問題なので、今後、県に要望していきたいと考えている。河川の堆積土砂の撤去は、来年度以降も県事業で計画的に実施されると連絡を受けている。
④現在は町の直接的な補助はないが、今回を教訓に検討を図る。

なぜこの時期に町長と 町職員の旅行か

毎年実施している職員互助会の 研修旅行だった

問 11月23・24日に泊二日で町長はじめ何人か知らないが大阪方面に行き、帰りの飛行機がとばず月曜日の午前中に帰ってきたとのことだ。町長はなぜこの時期に行ったのか。とても残念に思う。今町が水害に遭い、まだ何一つ片づいていないこの時期になぜ行ったのか。また職員は何人行ったのか伺う。

町長 職員互助会により毎年実施している研修旅行であり、業務の支障のない日程で調整し対応した。福島空港の活性化を図るためと宿泊先の予算等を含め変更できない状況にあり実施した。
飛行機が運行中止となり日程に変更が生じたが、在庁の職員と連絡を密に取り合い、職務に支障を来さないよう対処した。



町長就任後 1 年間の反省点は

行政が停滞なく執行できた



須藤浩二議員

問 ①町長就任から一年が過ぎたが、この一年間の反省点と、残りの任期中に取り組む課題について伺う。

②令和2年度職員採用試験の結果、何人採用となったのか。

③その後、山白石、里白石小学校の利活用についての検討委員会は設置できたのか。

町長 ①この1年間、議員各位と協議を重ね、職員と意思疎通を図り、行政が停滞することなく執行してきた。引き続き町勢伸展を図りたい。

②採用予定8名に対し、現段階の内定者は6名である。予定する2名についても本人の承諾を得ることで8名は確保できると思っている。

③役場内の跡地利用推進検討委員会は昨年より設置されている。年内には地域での意見要望等について話し合いをする予定になっている。



吉田富三記念館今後の運営は

町の貴重な財産として 継承していく

問 吉田富三記念館の運営について3点伺う。

①まず、過去3年間の入館者数を伺う。

②年次計画の中で、来館促進のためにどのような取り組みをしているのか伺う。

③町長は今後、吉田富三記念館をどのように運営していく考えか伺う。

町長 ②記念館運営は吉田富三顕彰会が事業計画に基づいて対応しているため、町としての取り組みはない。

③顕彰会の会則に基づく事業展開で、会長はじめ役員等の皆様と協議しながら次世代に引き継ぎ、町の貴重な財産として継承する考えである。

総務課長 ①有料、無料を含め平成28年度は2182名、29年度は2155名、30年度は2242名となっている。

中里屯所前に信号機設置を

1日も早く設置できるように頑張る



会田哲男議員

問 県道勿来浅川線の中里屯所前の交差点は、大草方面からと畑田方面から「止まれ」の標識があるが、標識の見落としと見通しが悪い等により、停止確認をしないことによる事故が絶えない。今後死亡事故も心配される。町はこの状況を強く認識し、点滅式信号機の設置を早急に行うように県及び県公安委員会等に強く働きかけるべきである。

町の認識と今後の対応について伺う。



交通事故が多発している屯所前交差点

町長 痛ましい交通事故が絶えない状況は放置できないので、公安委員会をはじめ関係機関へ強く働きかけている。点滅信号の取扱いが適当か公安委員会と協議する。

また、これらの件については石川警察署へ文書で要望している。一日も早く点滅信号機ができるように頑張りたいと思う。

保育料のゼロ歳児からの無料化の実施を

しばらくの間検討したい

問 あさかわこども園は幼稚部は無料。保育部は負担基準額の半額に減額し、無料〜1万6千円になっている。10月からは国の施策により、町民税非課税世帯は0歳児も無料だが、課税世帯は依然有料である。他町村では既に無料の所もある。本町も子育て支援として、0歳児の無料化をすべきと思う。

①無料化のために、新たに一般財源の必要額は。

②少子化の今、子育て支援として無料化を実施すべき。

町長 今回の保育料無料化は、もうしばらくの間、検討したい。

教育長 ①一般財源として800万円から850万円程度必要と思う。

②国及び県の今後の動きを注視し、よく見きわめながら検討していきたい。

災害に強い町づくりを

今回の災害を教訓に町職員で 防災対策チームを作った



水野秀一議員



被災した滝輪前の県道

問 台風19号が浅川町に甚大な被害をもたらした。幸いにも人的被害はなかったものの大規模な堤防の決壊が発生し、床上床下の浸水も発生し、田畑や道路も大きな被害を受けた。町民の皆様もこれほどの被害になるとは予想できなかったと思う。今後もこのような災害が発生する可能性は温暖化などにより高いので、この災害を教訓に災害に強い町づくりを考えるべきと思うが伺う。

町長 町の公共施設等管理計画に基づき、橋梁等の点検及び補修、施設の耐震化等の施策を推進する考えである。今回、この災害を教訓に町職員で防災対策チームをつくりあげた。今後、検証やこれからの対策をつくっていききたい。議会の皆様の意見も伺いながらやっていきたい。

中学生もバス通学できないか

来年度までには結論を出す

問 6月議会でも質問したが4月から小学校が統合され、里白石・山白石の子どもたちは通学バスで安心して通学している。父兄の方々は大変助かることだ。この小学生の乗るバスに中学生も乗車をお願いしたい旨の陳情書が本年3月に出ていると思う。6月議会の答弁では他の地区とのバランスを考慮しなければならぬので今後の検討材料としての答弁だったが、その後どのような検討をされているのか伺う。

教育長 中学生もとなるとバスの大型化、さらには朝夕の便数の増加が見込まれるので、今後も引き続き調査を継続したい。

学校教育課長 バスの大きさ等もあるので、引き続き検討事項にさせていただきます。来年度までには結論を出す考えではいる。

橋上沢を流れる川の改修工事を早急に実施すべき

行政区の要望を伺い対応を図る



渡辺幸雄議員

問 橋上沢を流れている川（水路）は一部改修が行われているが、人家近くは改修されず地域の皆さんが土のう袋等で災害を防いでいる。今まで考えられない雨量が短時間で降るなど、災害のリスクが高くなっている。災害を未然に防ぐ対応が必要ではないか。

町長 準用河川日影川については、これまでも災害復旧工事や維持工事で一部改修が行われており、今回の災害でも、約30か所の復旧工事を予定している。河川の形状から大規模な改修は困難だが、行

政区等の要望を伺い対応を図りたい。



あさかわこども園保育部を隣接町村の子供が利用できないか

待機児童を出さないため町内在住者を優先したい

問 ①隣接町村の子供も幼稚園から小学校、中学校を利用させてもらっているが、0歳から2歳までは、住んでいる町村の保育所を利用しなければならぬ。できれば町の施設を利用させたい。

②わが町でも人口減少が進んでいるのが現状。将来的には町としてはプラスになるのではないか。

教育長 ①あさかわこども園保育部入園の手続きは、町に住所を有する保護者が入園申込書を提出し、書類審査をし、入園の要否を判定している。特に、保育部については、町内の待機児童を出さないよう取り組みたい。

②他町村のこどもを受け入れるのはプラスになると思うが、町内在住者を最優先し、町では待機児童を出さぬよう考えている。

自主防災組織の設置推進は

地域防災計画に基づき強化を図る



木田治喜議員

問 平成26年3月に発行された浅川町地域防災計画の中で自主防災組織の整備が生かされ被害等々の軽減を図ることと明記されているが、その点について確認したい。災害対策基本法第5条の規定に基づき、自らの命と地域は自分たちで守るという意識のもとに行政区単位で自主防災組織の設置推進を図ることが義務付けられていると認識しているが、町として行政区への働きかけ及び指導はどのように行っているか、頻度も含めて伺う。

町長 県中地方防災訓練を予定していたが台風により中止となった。自主防災組織においても行政区長を中心とした体制を構築し、地域防災力の向上を図るとともに、例年は町消防団の模擬火災訓練において、行政区の協力をいただき消火器による訓練及び通報訓練等を行っている。今後も地域防災計画に基づき防災組織の強化を図っていく。



浅川小学校の安全対策は

施錠の管理や防犯対策に改めて指導している

問 昨今の社会問題として教育機関への外部侵入者による児童・生

徒への傷害事件が発生している。だからこそ日頃よりの予防対策が重要となってくる。教職員の健康管理も含めて2点伺う。

①浅川小学校においては、衛生委員会が設置されているか、併せてKY運動はしているか。
②正門については施錠されているが、浅川駅側の裏門及びプール側門は施錠はせず開放されている時があるのは、何か理由があるのか伺う。

部は設置している。KY運動については、年に1回石川警察署から講師を招き不法侵入者対応や登下校時の声かけ事案等の訓練等も実施している。

②児童の登下校が終了した時点で門を閉めて施錠するのを基本としているが、児童が遅れて登校などの連絡があったときはその児童が登校するまで開けておく場合もある。施錠の管理や防犯対策は改めて指導している。

教育長 ①浅川小学校においては、安全指導

※KY運動とは、危険予知(KY)運動

今後の町災害の対応体制は

条例で組織構成が決まっている



金成英起議員

問 台風19号が10月12日上陸し、浅川町においても重大な災害が発生した。社川は河川の氾濫によって堤防が決壊し、水郡線の線路が流され、住居の床上・床下浸水と未曾有の大被害を受けた。3点ほど伺う。

町長 ①浅川町防災会議設置条例により、組織構成が定められている。行政区長会長は、構成委員となっている。②ハザードマップにおける浸水状況は、県が浸水実績を調査検証中である。それらの資料を踏まえ作成予定である。また、土砂崩壊等に対応した避難所等も、町の「防災対策チーム」にて検証更新予定である。

③町の地域防災計画に基づき、災害状況を検証し、マニュアル等を作成するなど具体的な推進が図れるよう対処する。

①浅川町防災会議の委員に、町行政区長会、町建設業協力会、町議会議員を入れていないのはなぜか。

②災害ハザードマップの調査検証が必要。改新が必要ではないか。

③今後どのように進めていくのか伺う。

社会資本整備総合交付金事業で できるように要望している

染・小貫線の未改修部分の 拡幅は

問 3点ほど伺う。

①現在の状況はどうなっているのか。

②完成する見込みはあるのか。

③今後どのように進めていくのか。具体的な事業計画を示して頂きたい。

町長 ①事業費が多額となるため、社会資本整備総合交付金事業で実施できるように要望している。

②交付金の採決がされれば、完成に向けて事業を進めたいと考えている。

③交付金事業として要望段階のため、いつまでとは言えないが、町の目標としては、測量設計から工事完成まで2年間と考えている。



130mが未改修の町道

避難所や町防災計画の 早急な見直しを



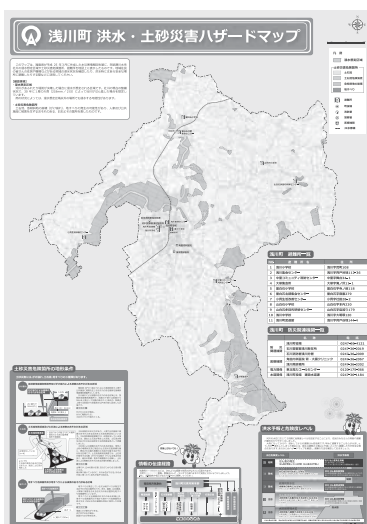
上野信直議員

検討作業に着手している

問 町が指定していた避難所のうち、小貫生活改善センターは浸水の危険により、大草集会所は土石流で孤立する危険により、避難場所には適さないことが明らかになった。滝輪地区、染地区などには新たな避難所が必要なのことはつきりした。早急に避難所の見直しを行うべきではないか。

町長 町地域防災計画では「現在は洪水に対する安全性が高まっている」と記されている。計画の見直しを行うべきではないか。浅川町防災会議は毎年きちんと開かれているのか。

町長 避難所の見直しについては、災害に応じた避難所を指定するなど、対象とする災害を見極めて検証したいと思っている。町地域防災計画については、職員による「防災対策チーム」を立ち上げ、11月28日に第1回目の会議を開き、検討作業に着手した。年明け2月末を目標に、今回の防災対応の検証をまとめたい。そのうえで、町地域防災計画の見直しを行いたい。浅川町防災会議は開いていない。申し訳なく思っている。



問 2011年3月に発生した東日本大震災の際に町は、一部損壊の住宅の修繕に上限20万円の補助金を出したほか1世帯1千円プラス1人当り500円の見舞金を支給するなど、町独自の被災者支援対策を実施した。今回の

大水害の被災者に 町独自の温かい支援を 上限30万円の住宅改修補助 など行っている

町長 建設関係では生活環境改善サポート事業補助金の特例を設け、交付の条件を緩和し、一部損壊以上の被災者に30万円を上限に被災住宅改修工事に補助金を交付している。上下水道料も個人用・営業用にかかわらず、一部損壊以上の住居、床上

大水害被災者にもこれにならって、町独自の温かい支援を行うべきではないか。建物の被災者、農地の被災者等について、どのような支援を行うのか伺いたい。

浸水以上の店舗、事務所等について2ヶ月分の基本料金を減免している。

半壊、床上浸水等で住居が困難な方に、最長1年間無償で「みのわ団地」への受入れを行っている。農地の被災者には復旧事業の個人分担金を免除したい。被災者に対する見舞金支給も実施する方向で検討したい。

一部損壊以上の被災者に30万円を上限に被災住宅改修工事に補助金を交付している。上下水道料も個人用・営業用にかかわらず、一部損壊以上の住居、床上

台風19号豪雨による被害 対策と復旧の見通しは

状況に応じた対応で復旧を進める



角田 勝議員

問 台風19号と豪雨はかつてなかった様な大災害だった。

①町道、県道、河川等の被災状況。

②農業関係の池、水路、農道等について、資料等と共に、その対策と見通しはどうか。

③水田等来年の作付に間に合うのか。

④個人の農地の崩れ等の工事についての個人負担はどうなるのか。

⑤農地に流入した杉の木、ワラ、砂利等の処理を誰がやるのか。その経費はどうするのか。

⑥町民グラウンドの一日も早い復旧が待たれているが急ぐべきではないか。

町長 ①町道の被災箇所は補助分5ヶ所、町単独分25ヶ所の復旧工事を予定している。補助分は今年度中に工事を完了したい。町単独分は農家の作付に支障がある場所を優先したい。県道埴泉崎線日渡橋付近の被災箇所は、今年度中に工事発注されるという。

②社川の決壊箇所付近は時間を要すると捉えている。

③できる限りの対応をしたい。

④既存の制度を有効に活用し対応したい。

⑤災害復旧事業による取り組みを基本にしながらも、農地ごとの状況に応じ対応したい。

⑥来年4月から利用できるよう復旧工事を進めたい。



公約である子育て施策の 充実は

中学校の制服は助成する方向

問 町長は子育て施策の充実を公約した。今年度は小学校入学児へのランドセル代の助成を実施したが、保育料無料化を全員に適用すべき。国も打ち出したが全員ではない。古殿町では実行されている。ぜひ実行すべき。また、中学生への制服代、高校生の通学費の補助も公約している。来年度からぜひ実行すべき。またかねてからの懸案である体育館の耐震補強工事設計と次年度の工事は振興計画通り実施する考えなのか。

町長 あさかわこども園保育部の保育料無料化については、国、県の動きをよく見きわめながら検討していきたい。中学校入学の際の制服購入の助成については、現在、助成する方向で調整している。さらに高校生通学の助成については、現在思案中である。

次年度、公共施設全般にわたり、個別管理計画を作成するので、振興計画は見直す。

東北の ミケランジェロ

小松 寅吉
(こまつ とらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。

中島村川原田天満宮 川田神社の「飛翔獅子」

(文 相田道代 / 写真 藁谷六朗)



中島村、川原田天満宮川田神社に、明治二十五年(一八九二)十一月十五日に、小松寅吉四十八才にて自ら奉納した「飛翔獅子」と呼ばれている狛犬像があります。

中島村史に「一八九〇年阿武隈川氾濫し流域の被害甚大」と記されており、その復興を願い自ら奉納したものだと言われています。

長年親方の利平のもとで、厳しい修行に耐え技と石工魂を継承。初めて名を世に出せた尻上りの斬新な狛犬の登場に人々

が驚き、同業である石工達さえも衝撃を受け、名工「小松寅吉」の名が大空を舞う風のように一気にここから広がりました。その狛犬はまるで神様が獅子家族を地上の守りに降ろしたかのような姿であつたからです。やがて良質な福貴作石から生まれたその狛犬は「飛翔獅子」と呼ばれる多くの人達を魅了し続けています。

台座に「浅川町福貴作 石工 小松布孝作之」と大きな文字で彫られており、まさに寅吉の記念すべきお披露目作であり、宿願の達成であります。

更に台座は町内の鈴木建設(株)の先祖である鈴木富五郎の亀甲台



り、宿願の達成であります。更に台座は町内の鈴木建設(株)の先祖である鈴木富五郎の亀甲台



であり、寅吉の石像の台座には富五郎の作が多いです。

地元である「川原田を良くする会」の皆さんによつて大切に保存されており、有り難く嬉しい限りです。



あの提言はどうなってるの？

学校跡地利用の地域懇談会は

令和元年9月定例会

答

地域での話し合いは、各種行事等と日程を調整し年内に実施する。

問

町長は地元の声を聞きながら進めたいとのことだが速やかにやるべきではないか。

平成30年6月定例会

答

検討委員会については課長等で検討している。具体的に進める際は地元の方々の意見を伺いながら進める。

問

跡地利用を速やかにできるよう跡地利用の検討委員会を立ち上げるべき。



跡地利用意見交換会を開催

令和元年12月25日(旧山白石小学校)、12月26日(旧里白石小学校)で開催



古里 写真館

Vol.11

Photograph

交流のページ

撮影時期は不明ですが、役場に保管されていた写真で、
集団予防接種のものです。



— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご
連絡下さい。誌上でご紹介させていた
だきます。

浅川町議会事務局 36-1182



昭和14年 二宮金次郎像の寄贈を祝う／滝輪 川井初子氏提供
東京で工場を経営し成功を収めた故川井武義氏の父内之助氏が、請われて浅川小学校に立派な像を
寄贈。祝賀の一枚。前列中央の洋装の人が内之助氏。

町民の声

小さな町から大きな魅力を



商工会女性部副部長
渡辺成美さん

浅川町商工会・女性部は、現在36名で構成されています。主な活動としては、町のイベントの企画運営や町の魅力を発信する主張発表などです。

私は昨年7月に「女性部活動と地域振興まちづくり・花火の里・浅川町の魅力」というテーマで県代表として発表させて頂きました。

商工会女性部連合会 第52回 通常総会 元年度商工会女性部トップセミナー



浅川町の代名詞でもある四季折々の花火の魅力や女性部メンバーとの活動の苦楽などを伝え、「身近にそんなところがあるんだ」と多くの人に知って頂く貴重な機会となりました。今では、町の公認キャラクター「あさまる」の制作も私たちが真心込めて手作りで行っています。

浅川町をより魅力的な町にするために商工業や企業を誘致した活動の展開も強く希望していきたいです。「小さな町から大きな魅力を」私たちはその一端を担っていきたいと思います。イベントなどで販売している商工会女性部手作りの「あさまる」を機会がありましたら手にとってみてください。

町民の皆様にご挨拶を申し上げます。
今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。広報委員一同アクティブに取り組んでいきますので、御協力よろしくお願いいたします。
今年が穏やかな一年となりますように、心からお祈り申し上げます。
兼子 長一

広報特別委員会 上野 信直 渡辺 幸雄 水野 秀一
会田 哲男 兼子 長一 菅野 朝興

編集後記



議会会議録はあさかわ図書館でご覧いただけます。町のホームページでも見ることができます。